

# 芸術科【書道Ⅰ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	書道Ⅰ				
科目目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>				

## 令和6年度 1学期 芸術科【書道Ⅰ】 評価規準

単元	書の美を求めて		
評価時期	4月		
単元の目標	<p>(1) 古典のもつ伝統的な美を感じ、臨書の意味や表現方法を理解している。基本的な用筆・運筆技能を身に付ける。</p> <p>(2) 用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解し、制作することができる。</p> <p>(3) 書写能力を高め、幅広い表現の学習活動に主体的・積極的に取り組む態度を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典のもつ伝統的な美を感じ臨書の意味や表現方法を理解している。</li> <li>・基本的な用筆・運筆技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解し、制作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写能力を高め、幅広い表現の学習活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文の記述内容</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文の記述内容</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・書道に関する作文（硬筆）の記述内容</li> </ul>		

<b>単元</b>	一 漢字の学習 ◇ 楷書の学習 2唐の四大家 3北魏の書	
<b>評価時期</b>	5月～7月	
<b>単元の目標</b>	<p>(1) 漢字の書体の変遷を通して書の伝統と文化を理解する。古典のもつ伝統的な書美を感受し、臨書の意味や表現方法を理解する。唐の四大家を中心とした楷書の書風の変遷と特性を学び、基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 各教材の法碑帖の構造的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。楷書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。</p> <p>(3) 楷書の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書体の変遷を通して書の伝統と文化を理解している。</li> <li>古典のもつ伝統的な書美を感受し、臨書の意味や表現方法を理解している。</li> <li>唐の四大家を中心とした楷書の書風の変遷と特性を学び、基礎的な技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の法碑帖の構造的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>楷書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
<b>観 点</b>	<b>評 価 内 容</b>	
<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清書作品（6教材）</li> <li>自作所感文（6教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清書作品（6教材）</li> <li>自作所感文（6教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師による行動観察</li> <li>清書作品（6教材）</li> <li>自作所感文（6教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	

### 令和6年度 2学期 芸術科【書道I】 評価規準

<b>単元</b>	一 漢字の学習 ◇ 行書の学習 2王羲之と顔真卿の書 3日本の行書	
<b>評価時期</b>	8月～10月	
<b>単元の目標</b>	<p>(1) 行書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付ける。行書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解する。</p> <p>(2) 各教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。行書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</p> <p>(3) 行書の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付けている。</li> <li>・行書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>・行書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（7教材）</li> <li>・自作所感文（7教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（7教材）</li> <li>・自作所感文（7教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・清書作品（7教材）</li> <li>・自作所感文（7教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	

単 元	一 漢字の学習 ◇ 草書の学習	
評価時期	11月	
単元の目標	(1) 草書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付ける。草書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解する。 (2) 教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。草書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。 (3) 草書の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・草書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付けている。</li> <li>・草書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>・草書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草書の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>

単 元	一 漢字の学習 ◇ 隷書の学習	
評価時期	11 月	
単元の目標	<p>(1) 隷書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付ける。隷書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解する。</p> <p>(2) 隷書の波勢や分間布白、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。隷書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</p> <p>(3) 隷書の特徴に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・隷書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、線質・線表現、構成法の技能を身に付けている。</li> <li>・隷書の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隷書の波勢や分間布白、用筆や運筆などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>・隷書の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隷書の特徴を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・清書作品</li> <li>・自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	

<b>単元</b>	一 漢字の学習 ◇ 篆書の学習 ◇ 篆刻・刻字の学習	
<b>評価時期</b>	11月	
<b>単元の目標</b>	<p>(1) 篆書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、構成法の技能を身に付ける。篆刻・刻字の技法を理解するとともに書の伝統と文化を理解する。</p> <p>(2) 篆書の用筆・運筆法などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。篆刻・刻字の技法に親しみ、そのよさや風趣を味わうことができる。</p> <p>(3) 篆刻・刻字の特徴に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の古典に基づいた基本的な用筆・運筆、構成法の技能を身に付けている。</li> <li>篆刻・刻字の技法を理解するとともに書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の用筆・運筆法などを理解し、字形構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>篆刻・刻字の技法に親しみ、そのよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆刻・刻字の特徴を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
<b>観 点</b>	<b>評 価 内 容</b>	
<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清書作品</li> <li>自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清書作品</li> <li>自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師による行動観察</li> <li>清書作品</li> <li>自作所感文（毛筆による）の記述内容</li> </ul>	

### 令和6年度 3学期 芸術科【書道Ⅰ】 評価規準

<b>単元</b>	二 仮名の書の学習 1 仮名の世界へようこそ
<b>評価時期</b>	12月～1月
<b>単元の目標</b>	<p>(1) 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿、構成法などの技能を身に付ける。仮名の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解する。</p> <p>(2) 各教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、単体構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。仮名の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</p> <p>(3) 仮名の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿、構成法などの技能を身に付けている。</li> <li>・ 仮名の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各教材の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆などを理解し、単体構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>・ 仮名の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清書作品（4教材）</li> <li>・ 自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清書作品（4教材）</li> <li>・ 自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師による行動観察</li> <li>・ 清書作品（4教材）</li> <li>・ 自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	

単 元	二 仮名の書の学習 2 蓬莱切の鑑賞と臨書 3 高野切第三種の鑑賞と臨書	
評価時期	1～2月	
単元の目標	(1) 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体による構成法などの技能を身に付ける。仮名の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解する。 (2) 仮名の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆、単体構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。仮名の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。 (3) 仮名の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体による構成法などの技能を身に付けている。</li> <li>・ 仮名の古典の名跡を通して書の伝統と文化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の流動的な構造や変化と統一、用筆や運筆、単体構成や全体構成を工夫し表現力を高めることができる。</li> <li>・ 仮名の古典の価値とその根拠を考え、書のよさや風趣を味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（4教材）</li> <li>・自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（4教材）</li> <li>・自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・清書作品（4教材）</li> <li>・自作所感文（4教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>

単 元	三 漢字仮名交じりの書	
評価時期	2～3月	
単元の目標	<p>(1) 漢字と仮名の調和した用筆・運筆、線質による表現や構成法、目的や用途に即した効果的な表現技能を身に付ける。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解する。</p> <p>(2) 漢字と仮名の調和した字形、大きさ、全体構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。創作した作品の価値とその根拠を考え、漢字仮名交じりの書的美を味わうことができる。</p> <p>(3) 漢字仮名交じりの書の幅広い表現の有り様に関心を持ち、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組む態度を養う。</p>	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和した用筆・運筆、線質による表現や構成法、目的や用途に即した効果的な表現技能を身に付けている。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和した字形、大きさ、全体構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫をしている。</li> <li>・創作した作品の価値とその根拠を考え、漢字仮名交じりの書的美を味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字仮名交じりの書の幅広い表現の有り様を理解し、表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（2教材）</li> <li>・自作所感文（2教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書作品（2教材）</li> <li>・自作所感文（2教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・清書作品（2教材）</li> <li>・自作所感文（2教材・毛筆による）の記述内容</li> </ul>	